

THE JAPANESE JOURNAL OF
HISTORY OF PHARMACY

薬史学雑誌

Vol. 23, No. 2.

1988

—目 次—

総 説

わが国近世薬学・薬業の問題点—ヨーロッパ薬学受容の基盤—……………吉岡 信……………55

原 報

日本薬局方に見られたタンニン酸製剤の変遷……………松本 仁人, 山田 光男……………66

日本への近代薬学導入のいきさつ (1) ………………安江 政一……………72

近代日本医薬品産業の発展 (その1) 明治以前の医薬品の貿易・薬の流通および
売薬の変遷……………山田 久雄……………87

史 伝

「星 一」言語録 (その1)……………三澤 美和……………98

ノ ー ト

アヘン戦争の薬学的考察……………宮崎 正夫……………102

史 料

オランダ1865年医務関係法規と山崎文庫「和蘭—医務条令・製薬開業制度」(そのⅢ)
オランダ1865年法第61号と山崎文庫「和蘭製薬開業ノ制度」……………川瀬 清……………111

雑 録

編集後記……………119

付 録

会員名簿……………121

THE JAPANESE SOCIETY OF HISTORY OF PHARMACY

Tokyo College of Pharmacy,
Horinouchi, Hachioji, Tokyo, Japan

日 本 薬 史 学 会

薬史学誌
Japan. J. His. Pharm.